

大阪労連「最賃署名スタート学習会」

と き：2月4日(水) 18:30～
場 所：国労会館大会議室

2015年春闘学習決起集会

と き：2月17日(火) 18:30～
場 所：国労会館大会議室

告知板

まもろう憲法と平和……………： ……………ストップ暴走・強権政治

実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定



2015年国民春闘討論集会開催

大阪春闘共闘委員会・大阪労連主催

大阪春闘共闘委員会と大阪労連主催の「2015年国民春闘討論集会」が11月29日から30日、和歌山市内で開催され、15単産・8地区協から78人が参加しました。

出足早く、労使関係を 変える春闘に

集会冒頭、川辺和宏代表委員(大阪労連議長)が、「歴史的な総選挙を目前にした討論集会となった。安倍政権打倒・維新政治打破を掲げ、経済闘争でも政治闘争でも労働組合の真価を發揮して闘おう。賃上げは一部大企業だけでなく、中小企業労働者や非正規職員は上がっていない。一方、大企業の内部留保は増加の一途だ。こうした下

賃上げ要求は月額2万円・ 時間額150円以上

井上氏は、「総選挙は、我々のたたかいが追い込んだ結果によるものだ。労働者派遣法も2度目の廃案となった。沖縄では知事選勝利をふまえて、小選挙区の自民党を全責落とすという布陣もひかれた。消費税が増税され、アベノミクスで株価は倍化、物価は上昇、円安になっ

職場・地域で 「見える聞こえる春闘に」

内部留保1〜2%取り崩 しで2万円賃上げ可能

菅義人大阪春闘共闘事務局長(大阪労連事務局長)は、2015年春闘方針案として、「国民春闘の再構築」をめざし、①賃上げ、②安倍政

現状・要求を出し合い 統一闘争に

休戦後、3つの分散会で大幅賃上げとらしの改善、平和な社会実現のため職場や組織、地域の現状、春闘での重点方針・要求などを出し合い、どのように統一闘争に結び付けていくか話し合われました。

回答指定日を軸にスト権を確立し、出足早く労働組合以外とも共同を広げ、労使関係を変え

続いて、井上久国民春闘共闘委員会事務局長(全労連事務局長)が、「2015年国民春闘の課題とたたかいの展望」と題し、講演を行いました。

民一体で推進しながら、府民的共同の前進をめざすことを提起。「職場でも地域でも、もっと見える聞こえる春闘に」すること、1月15日の「怒りの労働者総行動」、2月末までに要求提出とスト権確立、2月の「地域総行動」、3月12日の「大阪総行動」を中心とした統一闘争の展開を提案しました。

また、統昌司大阪春闘共闘事務局次長(大阪労連副議長)が「大阪ヒク トリーマップ」をもとに、大企業の内部留保の1〜2%の活用で月2万円の賃上げが可能であると明らかにしました。嘉満智子大阪労連幹事が自治体非正規アンケート調査の中間報告で2006年から昨年まで正規労働者が3万5千人減り、非正規が6千人増えていることを報告しました。

天満でとどけ

▼「全てを疑え」という名言がある。▼「アベノミクスで賃金上がった」と？年収1千万円超が14万人増え、200万円以下が30万人増え1120万人になった

▼「消費税増税分を全額社会保障に」と？増税分は法人税減税分に消えたし年金も減った▼「身を切る改革」議員定数を減らす」と？政党助成金は年間320億円▼秘書の経費も含めて議員450人分▼「消費税10%にすれば軽減税率導入」と？軽減税率8%のまま高止まりに▼「巨大与党に對抗するには野党がまとまらなければ」と？解党・離党・新党を繰り返したのは誰だった▼「衆院選で与党圧勝」と？自民は得票数・得票率も議席も減ったのに。

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2